

②老朽化対策分野

（公共施設等の長寿命化対策）

- 高度経済成長期等に建設された公共施設等が老朽化し、これから一斉に更新時期を迎えることから、限られた財源の中、県民に対する安心・安全な行政サービス（施設の利用等）を将来にわたり持続していくために、桜川市公共施設等総合管理計画に基づき、財政負担の軽減・平準化を図りつつ、更新・統廃合・長寿命化を計画的に実施する必要がある。
- 庁舎や学校、社会教育施設、道路、上下水道、市営住宅など施設類型ごとに個別施設計画を策定し、点検・診断や修繕・更新等のメンテナンスサイクルを構築するとともに、メンテナンスサイクルが円滑に回るよう所要の取組を実施する必要がある。
- 施設の適正な規模・機能等を検討し、施設の集約化等による資産総量の適正化に取り組むとともに、民間活力の導入による維持管理コストの削減など資産の有効活用を推進する必要がある。

（空き家対策）

- 所有者意識の低下により、放置され老朽化した空家は、低下部材の飛散や、建物自体の倒壊を事前に防止するため、所有者の経済的負担を軽減させ、自主的な撤去を促す必要がある。

【重要業績指標】

桜川市公営住宅長寿命化計画 改修棟数 11 棟 (R1) 【都市整備課】

桜川市空き家対策総合実施計画

除却された特定空家、不良住宅 21 棟 (R8) 【都市整備課】